



ニッセイCSRレポートハイライト

女性が輝く
社会のために



日本生命保険相互会社

NISSAY



ニッセイは、 女性が健やかにイキイキと 輝くことをサポートしています。

少子高齢化が進むにつれ、不足していく労働力の担い手として、女性への期待が高まっています。

当冊子は、ニッセイのさまざまなCSRへの取組の中でも、特に女性をサポートする取組に焦点を当て、ご紹介したものです。

大きな環境変化の中で、女性がより一層イキイキと輝き、活躍していくことを願っています。

I 特集 女性が輝く社会のために

- 1 女性が健やかであるために
- 2 子育て応援
- 3 女性の活躍推進

II その他のCSRへの取組（社会貢献活動）

III 社長メッセージ

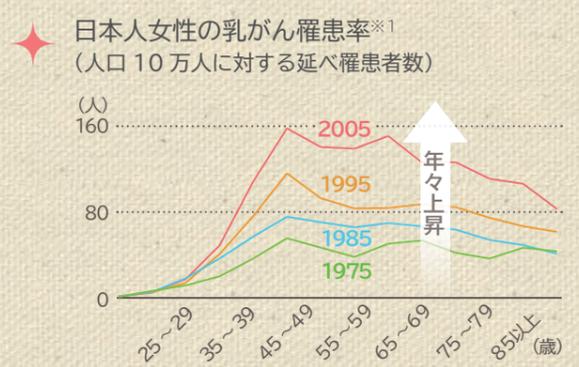
女性が輝く社会のために



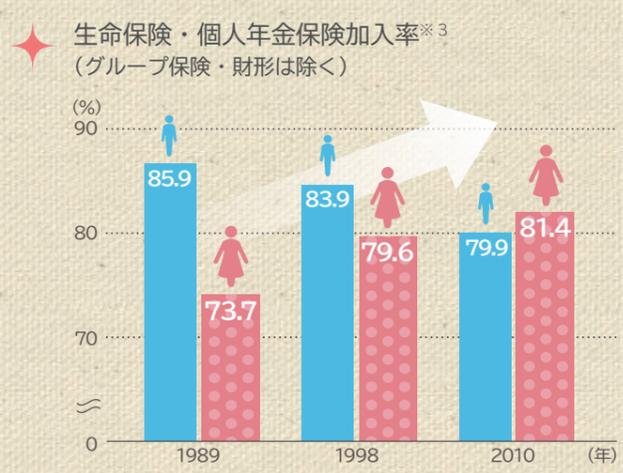
1
女性が
健やかで
あるために

ニッセイは女性特有の健康リスクへの備えをサポートするとともに、医療情報の提供や、乳がんの早期発見に向けた啓発活動等に取り組んでいます。

女性の健康リスク
女性の主な入院原因として、乳がん、子宮筋腫、出産等があげられます。特に、乳がんや、出産に伴う疾患のリスクは年々高まっています。



女性の保険加入率
近年、女性の社会進出や晩婚化等により、女性の保険加入率は年々上昇しています。平成22年以降は男性を上回っています。



ACTIVITIES
~ニッセイの取組~

保険によるサポート
みらいのカタチ レディース



自在に保障を組み合わせることができる商品※4「みらいのカタチ」で、女性特有の健康リスクへの備えをサポートします。



女性の体の悩み無料電話相談サービス



平成26年3月25日より、ご契約者向けサービスである「ずっともっとサービス」の特典として「Wellness-dial f」の提供を開始しました。「Wellness-dial f」では女性特有の症状・疾患といった体の悩みを、女性の専門家に気軽に電話でご相談いただけます。

ピンクリボン運動



ニッセイは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるピンクリボン運動を応援しています。全国各支社で、乳がんセミナーの開催や、営業職員の活動を通じ、乳がん検診を推奨する取組を実施しています。



ニッセイ乳がんセミナー (苫小牧支社)

※1 出典：独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター「地域がん登録全国推計によるがん罹患データ(1975～2005年)」
 ※2 出典：厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況」をもとに算出
 ※3 出典：(公財)生命保険文化センター「平成22年度 生活保障に関する調査」
 ※4 組み合わせには所定の制限があります。
 ※5 Wellness-dial f(以下、「当サービス」)は、(株)ライフケアパートナーズが提供する「ずっともっとサービス」の特典であり、ご利用に関して生じた損害について日本生命は責任を負いません。
 ※6 当サービスの詳細な内容やご利用方法は、日本生命ホームページ・ずっともっとサービス規程等にてご確認ください。ご確認・ご利用にあたっては、日本生命の「お客様ID」が必要となります。

ACTIVITIES
～ニッセイの取組～

女性医療への取組
日生病院

ニッセイは、(公財)日本生命済生会が設立した日生病院とともに、女性の健康に向けた様々な取組を行っています。

◆ 全国トップクラスの婦人科医療の提供

日生病院では、子宮の良性腫瘍や子宮内膜症について全国上位の治療実績(退院患者数)を有するとともに、内視鏡手術の件数も全国屈指の水準を誇ります。
また、先進医療にも積極的に取り組み、「腹腔鏡下子宮体がん根治手術」(平成24年1月～)、「腹腔鏡下仙骨腫固定術」(平成25年5月～)が厚生労働省より承認されています。



内視鏡手術で使用するモニター・カメラ

◆ お客様に対する医療・健康情報の発信

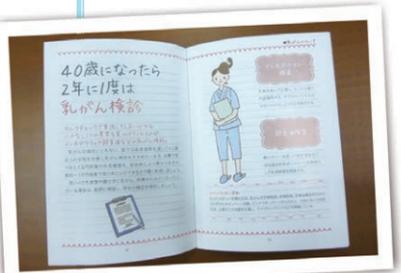
日生病院の監修のもと、営業用携帯端末「REVO」に、女性特有の病気に関する動画を登載し、お客様一人おひとりへの医療情報の提供を行っているほか、ハンドブック「きちんと知ろう私のカラダ」を作成・提供し、女性の健康を応援しています。



「REVO」を活用したお客様への説明

きちんと知ろう私のカラダ

- <主な内容>
- ・女性のライフサイクルとわかりやすい病気
 - ・健康関心度チェックリスト
 - ・乳がんかな?と思ったら ほか



◆ 各種セミナーの開催

乳がんや子宮頸がんといった女性特有の病気に関するセミナーを全国で開催しており、講師として日生病院の医師を派遣しています。



乳がんセミナー

COLUMN ◆ 日生病院について

昭和6年に大阪で開院した日生病院は、「生命・生活を救済し、人々のお役に立つ」という「済生利民」の精神にもとづき、無料・低額診療や総合医療サービスの提供に取り組んできました。

平成29年度には病院の建替・移転を予定しており、診療科目の拡充、より一層社会ニーズに適った医療サービスの提供、全国のご契約者様への有益な医療・健康情報の発信に努めてまいります。

女性医療の一層の充実に向けて

日生病院では、開院当初より産婦人科を設置しております。産科領域では、安心して分娩できるよう、LDR分娩室*の導入、小児科の併設等、万全の体制を整えております。

婦人科領域では、P5の取組に加え、高齢化に伴います増加が見込まれる「骨盤臓器脱」に対応する「女性骨盤底センター」を平成26年度に新設いたしました。

新病院では女性専用病棟を設置する等、建替を機に、女性医療への取組をさらに強化していきます。

* LDR分娩室は陣痛(Labor)・分娩(Delivery)・回復(Recovery)まで、ご家族とともにゆっくりお過ごしいただくためのお部屋です。



日生病院(大阪)



マンモグラフィ

◆ 女性医療への取組年表

昭和 6年	日生病院開院
7年	産婦人科・小児科新設
平成 7年	マンモグラフィ導入
17年	女性の医師・技師等が担当する女性受診者専用ドック開始
20年	乳腺外科新設 マンモグラフィ検診施設に認定
21年	大阪府がん診療拠点病院に指定
22年	無料乳がん検診開始(母子家庭対象)
24年	腹腔鏡下子宮体がん根治手術が先進医療承認
25年	腹腔鏡下仙骨腫固定術が先進医療承認

日生病院は、長年にわたって、女性医療に力を入れて取り組んできましたが、今回の病院建替をきっかけに、それをさらに充実させていきたいと考えています。
より多くの方々に愛され、一人でも多くの女性の皆様に親しんでいただける病院を目指します。

◆ 現場の声



新病院新設準備室 東郷 副看護部長



子育て 応援

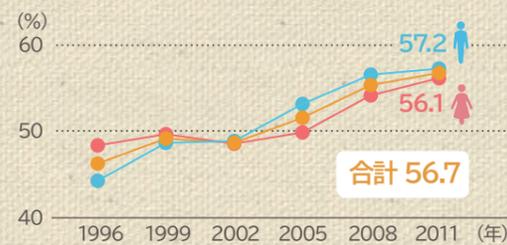
ニッセイは商品・サービス等を通じて、育児にかかる様々なサポートを行い、子育てに励むママやパパを応援しています。



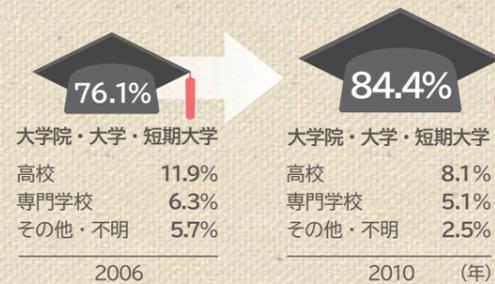
子どもの教育をとりまく環境

大学・短期大学への進学率は、年々上昇しており、平成 23 年度では 56.7% となっています。こうした進学率の上昇に伴って、子どもに望む最終学歴として、大学院・大学・短期大学を求める割合も上昇しています。

◆ 大学・短期大学への進学率の推移※1 (過年度卒業者を含む)

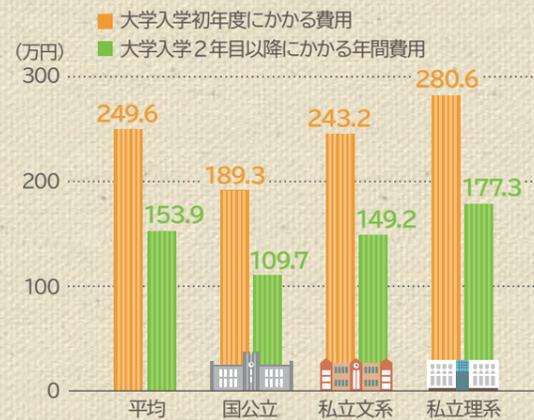


◆ 子どもに望む最終学歴※2



一方、大学の入学金・授業料は、国公立大学でも初年度が約 190 万円で、2 年目以降は年間約 110 万円、私立大学理系では初年度が約 281 万円で、2 年目以降は年間約 177 万円と、高い費用がかかります。

◆ 大学にかかる費用※3



ACTIVITIES

～ニッセイの取組～

保険によるサポート

ニッセイ学資保険

大学への進学率や費用に関する近年の動向や、お客様のニーズを調査する中で、平成 25 年 4 月から、お申込みいただいた保険料に対して受取る総額の割合を高め、将来に必要な教育資金を効率的に準備できる「ニッセイ学資保険」を発売しました。

1
特に負担の重い大学の教育資金を計画的に準備できます。

ニッセイ学資保険の
3つのポイント

3
ご契約者が保険料払込期間中に亡くなられた場合、将来の保険料のお払込みは必要ありません。
保障内容はそのまま継続されます。

2
お申込みいただいた保険料より、**大きな教育資金※4**をお受取りになれます。

育児無料電話相談サービス

「ずっともっとサービス」 育児相談しほっとライン

「ニッセイ学資保険」の発売とあわせて、ご契約者向けサービスである「ずっともっとサービス」の特典として「育児相談しほっとライン※5※6」の提供を開始しました。「育児相談しほっとライン」ではお子様の健康や育児の疑問について、24 時間いつでも専門家に電話でご相談いただけます。

お客様の声



野口 弥生さん
景都さん

これからどんどん教育費がかかるので、資産形成効果が高くて利点の多い商品を探していましたが、その中で一番自分に合うと思ったニッセイの学資保険に加入しました。先日、子どもが保育所で高熱を出し、最寄りの病院で薬をもらったのですが、熱が下がらないまま夜になり、とても不安に感じました。その際に、育児相談しほっとラインに電話してみたところ、すぐに専門家のアドバイスをもらうことができました。時に心細くなる育児の中でも、24 時間いつでも気軽に専門家の方に相談できるというのはとても頼もしいサービスだと思います。

※1 出典：文部科学省「平成 23 年度学校基本調査」
 ※2 出典：(株)セールス手帖社保険 FPS 研究所「サラリーマン世帯生活意識調査」
 ※3 出典：日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査結果(平成 25 年度)」をもとに算出
 ※4 保険料払込期間中にご解約された場合等、払込保険料総額を下回る場合があります。
 ※5 育児相談しほっとライン(以下、「当サービス」)は、(株)ライフケアパートナーズが提供するずっともっとサービスの特典であり、ご利用に関して生じた損害について日本生命は責任を負いません。
 ※6 当サービスの詳細な内容やご利用方法は、日本生命ホームページ・ずっともっとサービス規程等にてご確認ください。ご確認・ご利用にあたっては、日本生命の「お客様 ID」が必要となります。

ACTIVITIES

～ニッセイの取組～

子育て支援団体への助成

(公財) 日本生命財団

ニッセイが設立した(公財)日本生命財団では、毎年、各地域で子育て支援に取り組んでいる団体への物品の助成を行っています。平成25年度は49団体へ助成を行いました。

助成団体紹介

◆ 諫早子ども劇場(長崎県諫早市)

“さあ、新聞紙をぐしゃぐしゃにしてみよう!”
乳幼児親子を対象にしたあそびの会「びちくりぴー」。夏休みなどは、幼稚園・小学校のお兄さん・お姉さんも参加し、家ではできないダイナミックな遊びを心ゆくまで思いっきり楽しめます。
“子どもに夢を!たくましく豊かな創造性を!”のもと「生の舞台芸術との出会い」と「異なる年齢で遊びあう自主活動」の2本柱で活動しています。



◆ はっぴい mama ほうす(新潟県新潟市)

子育て中のいろんな“困った”に、保健師・助産師・保育士などの専門職集団「はっぴい mama 応援団」が応え。悩みの絶えないママたちの力強い味方です。
ママと赤ちゃん、そして子どもたちが集まって、話をしたり遊んだりできる定期的なサロンを開催しているほか、生後2カ月からの産後ケアも行っています。



◆ 日本家族ふれあい協会 UNION(愛知県知多市)

乳幼児期の子どもと親を対象とした「ママと赤ちゃんのふれあい広場」を開催。孤独を感じがちな子育てをもっと楽しいものにしたと、ママと赤ちゃんの愛着形成に役立つベビータッチケアを実施しています。笑顔のママとのスキンシップで、子どもたちにも自然と笑顔が。ほかにも栄養士や助産師による専門知識の提供や手遊び、絵本の読み聞かせを行っています。



ACTIVITIES

～社内での取組～

従業員の仕事と子育ての両立に向けて

◆ 「子育てサポート企業」認定

次世代育成支援対策推進法にもとづく行動計画を策定し、雇用環境・労働条件の整備に取り組んだ結果、「子育てサポート企業」として、平成22年7月に2回目の厚生労働大臣の認定(「次世代認定マーク」)を受けました。



次世代認定マーク
(愛称:くるみん)



パパマランチ交流会

◆ ワーク・ライフ・バランス推進

ワーク・ライフ・バランスの考え方を正しく理解し、働き方を変えることを目的に、従業員向けハンドブックの作成や、仕事と子育ての両立についての情報交換会等を行っています。



ワーク・ライフ・バランス
ハンドブック



社内ホームページ登載の
ワーク・ライフマネジメント講座

◆ 男性の育児参加推進 ～育児休業100%取得の取組～

平成25年度より、男性育児休業取得100%を社内共通目標に掲げ、全社をあげて取り組んでいます。男性の育児参加を促すことを目的として「イクメンハンドブック」を作成し、社内ホームページに育児休業を取得した男性の体験談を紹介しています。



社内ホームページでの育児休業体験談紹介



イクメンハンドブック



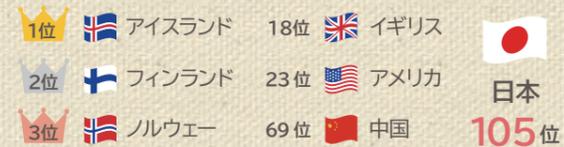
女性の活躍推進

ニッセイは、女性が全従業員の9割・約6万名を占める会社であり、女性の活躍を経営戦略として位置づけ、中長期の視点から取り組んでいます。

一般労働者の正社員・正職員の所定内給与額および男女間賃金格差の推移※1



男女平等（ジェンダーギャップ）指数ランキング2013※3

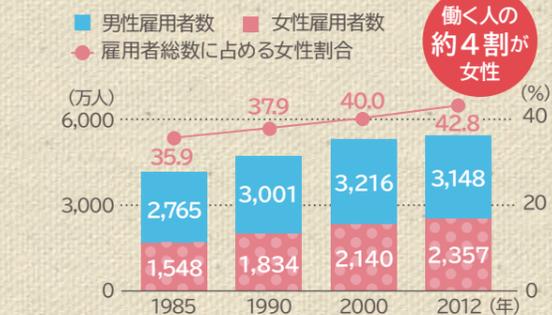


一方で、男女の賃金格差は依然として女性が男性の約70%と大きくなっています。また、世界各国の男女平等（ジェンダーギャップ）指数ランキング2013では日本は105位に留まっており、特に「経済活動の参加と機会」や「政治への関与」の分野で遅れをとっています。

働く女性をとりまく環境

働く女性の割合は年々上昇しており、30代の女性の労働力率が大きく下がるM字型の曲線も緩和されてきています。

雇用者数および雇用者総数に占める女性割合の推移※1



女性の年齢階級別労働力率（2012年）※1※2



ACTIVITIES

～ニッセイの取組～

女子生徒へのキャリア形成支援

中学生・高校生向けに、ライフプランニングや保険の大切さ等、様々なテーマについて従業員が直接語りかける「出張授業」や「受入授業」を行っています。その取組の一環として、女子生徒に対し、女性のキャリア形成をテーマとした、講義・座談会等も行っています。

平成25年12月19日
私立白梅学園清修中高一貫部 受入の様子



講義（ライフプランニング）



働く女性との座談会



職場体験（ライフプラザ丸の内）



女性管理職からの応援メッセージ

生徒の声

今はできるだけいろんなことに興味を持って自分の幅を広げていきたいです。そして将来、自分がやりたいことをしっかりと見つけて、結婚後も続けていけるようがんばりたいです。



石井 日奈子さん
（中学3年生）

山川 桃実さん
（中学2年生）

今回のお話を聞いて、女性が社会で活躍できる機会がたくさんあることがわかったので、これから積極的に多くのことにチャレンジして世の中に出ていけたらいいと思います。

※1 出典：厚生労働省「平成24年版 働く女性の実情」
 ※2 15歳以上人口に占める労働力人口の比率
 ※3 出典：World Economic Forum, 「The Global Gender Gap Report 2013」

ACTIVITIES
～社内での取組～

女性従業員の活躍に向けて

◆ 「ポジティブ・アクション宣言」「女性のエンパワーメント原則 (WEPs)」

平成 25 年 2 月に「ポジティブ・アクション宣言」を厚生労働省ホームページに登録、また、4 月には国連の「女性のエンパワーメント原則 (WEPs)」に署名し、女性活躍推進を経営戦略と位置づける姿勢を経営トップから国内外向けに発信し、様々な取組を行っています。



女性プロジェクトチームによるプレゼンテーション

◆ 女性プロジェクトチーム

平成 24 年度から、様々な経営テーマについて女性・若手職員が闊達な議論を展開する「みらい創造提案活動」を実施しています。

これまでの提案内容の一部は、ニッセイの経営にも反映されており、例えば、前述 P4 の「Wellness-dial f」や P8 の「育児相談ほっとライン」は、女性のプロジェクトチームの考案によるものです。

◆ 「輝き推進室」の設置

平成 20 年度から「輝き推進室」という専門組織を立ち上げ、女性従業員の自律的なキャリア形成意識の醸成に向けた様々な情報提供やフォーラムの開催等を行っています。

担当者の声 ◆



浜口 輝き推進室長

◆ 仕事もプライベートもイキイキと

ニッセイ・ニュークリエーション(障がい者雇用のための特例子会社)で管理職として活躍する林佐恵さん

会社勤めの傍ら、車いすでの社交ダンスに力を入れ、子どもたちにダンスの素晴らしさを伝える市民団体の活動にも取り組んでいます。女性が仕事にもプライベートにも、夢を持ってイキイキとチャレンジできる、そんな社会をニッセイは目指しています。

車いすダンス全日本選手権で初優勝



COLUMN ◆ 女性を中心とした営業職員のフェイス・トゥ・フェイスの活動

ニッセイの営業職員の 99% は女性であり、その始まりは昭和 20 年代後半にまで遡ります。当時、女性の社会進出が進んだ時期であり、ニッセイはいち早く女性営業職員の採用を始めました。

日々お客様を訪問するフェイス・トゥ・フェイスの活動は、現在においてもニッセイの生命保険事業の根幹をなすものとなっています。



昭和 30 年頃

訪問活動の様子

昭和 29 年より、一人ひとりの営業職員がそれぞれ一定地域を受け持ち、保険に関する諸手続きを行う体制としました。

昭和 40 年頃

営業職員の定着

いつもお客様のそばでお役に立てよう努める、そうした営業職員の活動が定着していきま

した。
CMニッセイのおばちゃん、自転車で!



昭和 60 年頃

職域活動

共働きによる昼間の不在宅増加、口座振替導入による集金活動減少もあり、お客様の職場での営業・サービス活動も重要となりました。

現在

ご契約内容確認活動

ご加入後も安心してご契約を継続いただけるよう、毎年お客様を訪問し、アフターサービスの充実に努めています。



◆ 営業職員の育成

付加価値の高いアフターサービスを長く提供し続けていくために、入社初期段階からの研修や OJT を通じた人材の育成に力を入れています。



保険の知識やお客様対応に関する研修

その他のCSRへの取組

社会貢献活動

ニッセイは、「児童・青少年」「環境」「文化」「高齢・医療」等、様々な分野で継続的に社会貢献活動に取り組んでいます。

児童・青少年の健全育成への貢献

夏休みキッズセミナー

来店型店舗ニッセイ・ライフプラザにおいて保険や環境について楽しく学ぶ、小学生向け夏休みキッズセミナーを開催しています。平成25年度は全国98カ所で開催し、子どもと保護者延べ3,537名が参加しました。



ライフプラザ福島

ニッセイ「森の探検隊」

子どもたちが自然観察等を通じて森に親しみ、大切な森を守るために必要な作業を体験できる場を提供しています。



田貫湖ふれあい自然塾（静岡県）

中学生・高校生向けの取組

自分自身の将来設計を考える中学生向け学校教材「わたしの未来設計図」を制作し、平成21年から累計約124万部を提供しています。また、中・高生を対象とした「出張授業」や「受入授業」にも取り組んでおり、平成25年度は31校・1,757名が参加しました。



出張授業（北海道）

ニッセイ名作シリーズ

昭和39年以来、小学校6年生をミュージカル公演に無料招待する「ニッセイ名作劇場」を実施してきました。平成26年からは、幼児から高校生まで対象を拡大し、オペラを始め、バレエ・クラシック音楽・人形劇・伝統芸能等幅広いジャンルの優れた舞台芸術を届ける「ニッセイ名作シリーズ」を新たに展開していきます。



アリスのクラシックコンサート
（撮影：三枝 近志）

環境保護への貢献

ニッセイ未来を育む森づくり

かけがえない地球環境を次世代に引き継ぐことを願い、平成4年から森づくりに取り組んでいます。これまでに植えた苗木は131万本を超え、「ニッセイの森」は43都道府県187カ所（約436ha）に広がっています。（公財）ニッセイ緑の財団と協力し、環境や生態系に配慮した多彩な森づくりを推進することで生物多様性保全への貢献を目指しています。



「ニッセイ関川の森」（新潟県）間伐作業

自然との絆を守り、次世代にいのちをつなぐ

心豊かな社会を目指して

豊かな文化の発展への貢献

日生劇場（東京・日比谷）

舞台芸術の普及と振興を通じて心豊かな社会づくりに役立てるよう、昭和38年に「日生劇場」を建設しました。運営を担う（公財）ニッセイ文化振興財団は、オペラの普及を目指し、「NISSAY OPERA」を上演しています。また平成5年以降、舞台の裏方を支える技術者の育成・支援を目的とし、舞台の裏側・仕組を公開する「舞台フォーラム」や技術者を表彰する「ニッセイ・バックステージ賞」等の取組を実施しています。



NISSAY OPERA「リア」
（撮影：三枝 近志）

ボランティアによる地域・社会への貢献

従業員によるボランティア活動

地域清掃活動や、遺児支援のための活動、子どもたちを対象とするスポーツ教室の開催等、毎年、全国すべての支社でボランティア活動を行っています。平成25年度は約2.7万名が参加しました。当社はこれらの活動を支援し、活動に必要な経費の補助や情報提供等を行っています。



地域清掃活動（北九州支社）

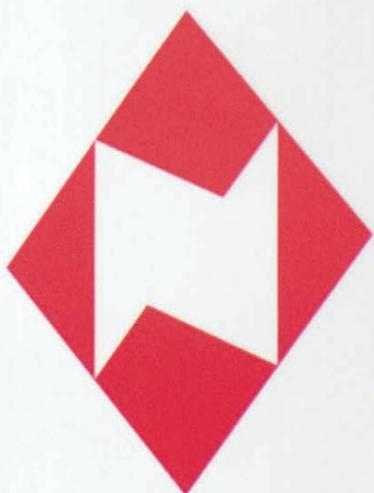
高齢・医療分野への貢献

ニッセイエデンの園

（公財）ニッセイ聖隷健康福祉財団が運営する「ニッセイエデンの園」（奈良：平成4年開園、松戸：平成9年開園）は、有料老人ホーム、疾病予防運動センター、高齢者総合福祉センター、在宅介護サービスセンター等を整備した総合施設として、地域で暮らす高齢者が安心して生活できるまちづくりに寄与しています。



奈良ニッセイエデンの園



NISSAY



今、日本では、少子高齢化などの社会情勢の変化を受けて、女性のライフスタイルは多様化し、働く女性への期待も高まっています。
 このように、女性をとりまく環境は大きく変化しており、女性の活躍を応援するべく、社会全体で様々な取組が進められております。

当社では、生命保険による保障のご提供は勿論、女性特有の疾患や育児に関する電話相談サービス、日生病院による女性医療への取組、中学生・高校生に対する出張授業のように、健康や育児、そして未来を支える子どもたちへの教育など、女性活躍推進に向けた幅広い取組を行っております。

また、当社は従業員の9割を女性が占めており、女性の意欲、能力を最大限発揮させるための諸施策や、風土の醸成にも積極的に取り組んでおります。

当冊子は、このような当社の取組をご紹介します。
 大きな環境変化の中で、女性が健やかにイキイキと輝いてほしい、そのような想いをこめて作成いたしました。

これからも当社は、様々なニーズにお応えすることで、企業の社会的責任を果たし、お客様から揺るぎない信頼をいただけるよう努力してまいります。

平成26年6月

代表取締役社長 **筒井 義信**

会社概要

(平成25年9月末現在)

名称 日本生命保険相互会社	本店所在地 〒541-8501 大阪市中央区今橋 3-5-12	代表取締役社長 筒井 義信
創立 明治22年(1889年) 7月4日	従業員数 70,761名	事業所 支社等 114 営業部 1,573 海外事務所 4 代理店*1 12,141

業務の概要

- | | |
|---|--|
| 生命保険業
● 生命保険業免許に基づく
保険の引受け
● 資産の運用
・ 貸付業務
・ 有価証券投資業務
・ 不動産投資業務 | 付随業務・その他の業務
● 他の保険会社その他金融業を行う
者の業務の代理または事務の代行
● 債務の保証
● 証券投資信託受益証券の販売
● 確定拠出年金制度における運営管
理業務 |
|---|--|

子会社等 (平成26年3月末現在)

- | | |
|-------------|-----|
| 保険および保険関連事業 | 9社 |
| 資産運用関連事業 | 30社 |
| 総務関連事業等 | 9社 |

* 自己資本 (平成25年度上半期末)

3兆5,070億円
 (うち基金・諸準備金等 3兆3,500億円)

* 格付け*2 (平成25年12月1日現在)

格付投資情報センター (R&I) (保険金支払能力)	スタンダード&プアーズ (S&P) (保険財務力格付け)	ムーディーズ (Moody's) (保険財務格付)
AA	A+	Aa3

* 責任準備金 (平成25年度上半期末)

46兆8,459億円

格付水準

AAA
AA
A
BBB
BB
B
⋮

上位ほど保険金を支払う能力が高いとされています

R&Iの定義「AA」

<http://www.r-i.co.jp>
 保険金支払能力は極めて高く、優れた要素がある。

S&Pの定義「A」

<http://www.standardandpoors.co.jp>
 保険会社が保険契約債務を履行する能力は高いが、上位2つの格付けに比べ、事業環境が悪化した場合、その影響をやや受けやすい。

Moody'sの定義「Aa」

<http://www.moodys.co.jp>
 信用力が高いと判断され、信用リスクが極めて低い債務に対する格付。

※1 代理店数には、銀行等の金融機関代理店等も含まれています。

※2 格付けとは、第三者である格付会社が、保険会社の保険金を支払う能力等に対する確実性を評価したものです(保険金支払い等について保証を行うものではありません)。

・格付けは、取得日現在までの数値、情報にもとづいており、将来的には変化することがあります。

・格付けは、詳細な情報にもとづき、より適正に評価していただくため、当社が正式に依頼してR&I、S&P、Moody'sから取得したものです。

・格付けに付加されているプラス記号(+)、マイナス記号(-)、および数字記号は、それぞれ格付けカテゴリ内での相対的な強さを表します。



日本生命保険相互会社

編集後記

この冊子は、ニッセイのCSRへの取組のうち、特に女性をサポートする取組に焦点を当て、よりわかりやすくお伝えできるように、写真やデータを多く用いて編集しました。その他の取組や、これまでに発行したCSRレポート冊子については、ホームページに登載していますので、どうぞご覧ください。

＼クリック／



「ニッセイ CSR ホームページ」CSRへの取組を登載



これまでに発行したCSRレポート冊子



H25.1 発行
CSRレポート
ハイライト
「みらいを創る
子どもたちのために」



H22.11 発行
CSRレポート
ハイライト 2010
「子どもたちの
幸せな未来を願って」



H21.10 発行
CSRレポート
ダイジェスト
2009



H20.12 発行
CSRレポート
ダイジェスト
2008

生命保険のお手続きやお問い合わせにつきましては

〈ニッセイコールセンター〉 0120-201-021 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00 (祝日、12/31～1/3は除きます)

※ プライバシー保護のため、お問い合わせは契約者ご本人様からお願いたします。 ※ お電話をいただく際には、証券記号番号または契約番号をお知らせください。

※ ニッセイコールセンターへのお電話の内容は、当社業務の運営管理およびサービス充実等の観点から、録音させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

〈ニッセイホームページ〉 <http://www.nissay.co.jp> ※ ご住所の変更等のお手続きやご契約内容の照会、資料請求、ご相談等を受付けています。